



ヴィアレブ®の治療を受ける皆さまと介護者の方へ

ヴィアレブ® 患者さん向けガイド



本ガイドには、注意すべき重要な安全性情報が記載されています。
この薬を使用する準備をする際は、
本ガイドを常に利用できるようにしておいてください。

目 次

▶ はじめに	03
--------	----

▶ 注入部位の選択方法	04-05
-------------	-------

▶ 注入部位感染／注入部位反応の確認方法	06
----------------------	----

▶ 注入部位感染／注入部位反応のリスクを 減らすための方法	07-08
----------------------------------	-------

▶ 注入部位感染／注入部位反応があらわれたら	09
------------------------	----

はじめに

ヴィアレブ®は進行したパーキンソン病の症状を治療する薬です※。他の薬による十分な効き目が得られなくなった場合に使用されます。

※ヴィアレブ®の効能又は効果は、「レボドパ含有製剤を含む既存の薬物療法で十分な効果が得られないパーキンソン病の症状の日内変動(wearing-off現象)の改善」です。

患者さんまたは介護者の方に、へその周りへ設置した小さなプラスチック製のチューブ(カニューレ)を通して皮下にこの薬を投与していただきます。この部分を注入部位といいます。

この薬は、このチューブから1日24時間、持続的に投与されます。

ヴィアレブ®を使用すると、カニューレが挿入される皮膚の周囲に以下のような問題が生じる場合があります。

皮膚の感染：

細菌が皮膚に侵入したときに起こることがあります。細菌が血液に入り込むと、皮膚の感染が重症化して細菌が全身に広がるおそれがあり、これを敗血症はいけつしょうといいます。

皮膚の反応：

皮膚が刺激を受けたり炎症を生じたときに起こることがあります。

注入部位の選択方法

注入部位は定期的に変えることが重要です。これは、皮膚を健康に保ち、この薬を正しく投与できるようにするためです。

医師から他の部位を使うよう指示がない限り、注入部位として腹部を使用します。選択する場所は、へそから少なくとも5cm（小指の長さくらい）離れていることを確認してください。

ベルトをしている場合にベルトを皮膚へ押しつけると、この部分が刺激される可能性があるため、ベルト部位への注入は避けてください。

皮膚が傷んでいたり、硬くなっていたり、妊娠線がある場合は、その部分への注入は避けてください。

皮膚のひだやしわなど、自然に大きく曲がる部分への注入は避けてください。

注入部位を変えるたびに、新しい輸液セット（カニューレ/チューブ）を使用してください。

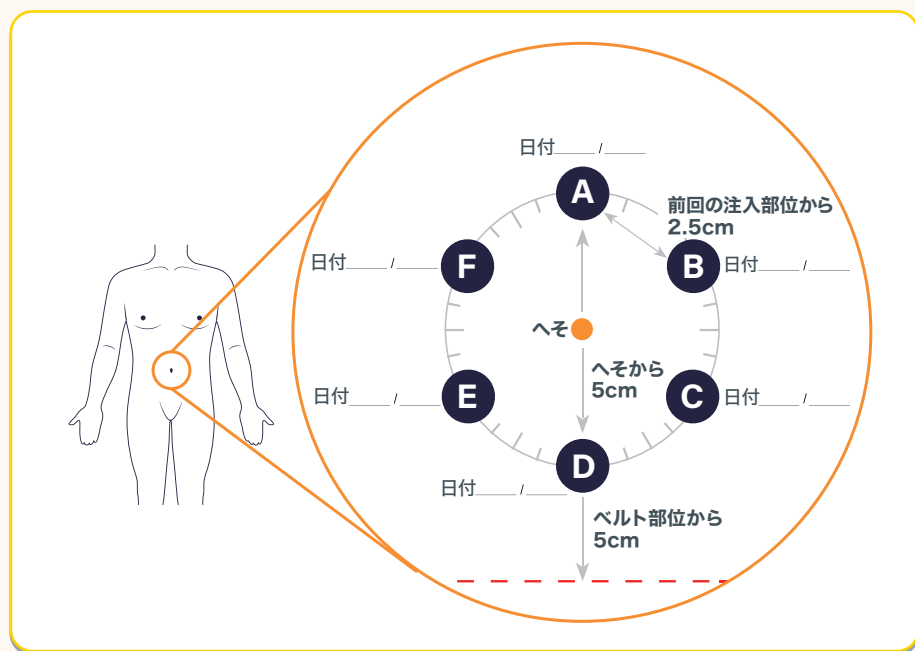
皮膚の変化（発赤、腫れ、痛みなど）に応じて、少なくとも3日ごとに注入部位を変更してください。

新たな注入部位は、過去12日間に使用した投与部位から2.5cm（約指2本分）以上離してください。

皮膚に異常（圧痛、あざ、発赤、硬結等）がある部位は、症状が治癒するまではその部位には投与しないでください。

注入部位をすぐに再使用することを防ぐためには、いくつかの方法があります。

1つは、以下の図のように、時計回りで前回の注入部位から2.5cm以上離して挿入していく方法です。例えば、Aから始めた場合、次の注入部位はB、その次はCと続きます。

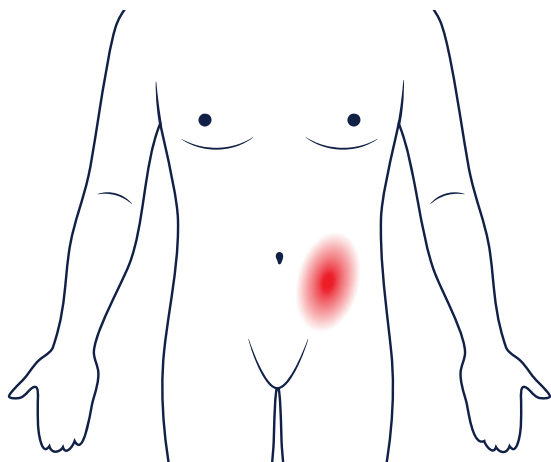


投与の状況を把握するため、注入した日付と注入部位を記録してください。

注入部位感染／注入部位反応の確認方法

カニューレを挿入した部位の皮膚に変化がないか確認してください。
皮膚の変化は発熱の有無にかかわらず起こり、以下のものがあります。

- ▶ ほっせき
発 赤
- ▶ 触れると温かい
- ▶ しゅちよう
腫 脹
- ▶ あつつう とうつう
圧 痛／疼 痛
- ▶ 皮膚を押したときの皮膚の色の変化



注入部位感染／注入部位反応のリスクを減らすための方法

注入部位感染または注入部位反応があらわれる可能性があります。
注入の際は以下の点に気を付けてください。

	清潔で平らな明るい場所（テーブルなど）を使用して、注入の準備をしてください。
	注入液を調製するときは、注入部位と輸液セットを清潔に保ってください。
	手は必ず石鹸と水で洗い、ペーパータオルで乾かしてください。乾かした後は、汚れたものには触れないでください。
	シリンジの先端、バイアルアダプタ、チューブ、コネクタが汚れた表面に触れないようにしてください。
	汚染されている可能性のある使用済みの材料は、慎重に捨ててください。



皮膚の変化（発赤、腫れ、痛みなど）に応じて、
少なくとも3日ごとに注入部位を変更してください。

注入部位感染／注入部位反応のリスクを減らすための方法



注入部位を選択したら、消毒用アルコール含浸綿等で皮膚を拭いてください。清潔にした部分を汚さないように一方向に拭き取ってください。少なくとも1分間は乾燥させてください。



新たな注入部位は、皮膚の治癒のため、過去12日間に使用した注入部位を使用しないでください。



過去12日間に使用した投与部位からは、常に2.5cm（約指2本分）以上離してください。



新しい注入部位に変更する際は、必ず新しいカニューレとチューブを使用してください。



注入部位の周りの毛をハサミで切ってください。カニューレのテープが皮膚につきやすくなります。毛を剃る必要がある場合は、1日待ってから注入部位を使用してください。



注入部位の皮膚を刺激しない、快適な衣服を着用してください。

注入部位感染／注入部位反応があらわれたら

3日を待たずにすぐに新しい輸液セットを使用して、注入部位を変更してください。

以下のような症状があらわれたら、医師、看護師または薬剤師へ相談してください。

ほっせき
▶ 発 赤

▶ 触れると温かい

しゅちよう
▶ 腫 脹

あつつう とうつつ
▶ 圧 痛／疼 痛

▶ 皮膚を押したときの皮膚の色の変化

症状がある場合には治癒するまで再使用しないでください。

ヴィアレブ®の使用中に、
注入部位感染や注入部位反応があらわれた場合だけでなく、
それ以外の副作用と思われる症状があらわれた場合には、
医師、看護師または薬剤師に相談してください。

何かご不明な点等がありましたら
いつでもお気軽にお問い合わせください。

ヴィアレブ®による治療を受ける患者さんのための問い合わせ窓口

ヴィアレブ®コールセンター

フリーダイヤル

0120-062-510

受付時間：24時間365日〈通話料無料〉

[illegible]

製造販売元

アッヴィ合同会社

東京都港区芝浦3-1-21

2024年3月作成

JP-VYAL-220002-2.0

abbvie